

平成 20 年度 eco-T 市民会議 (平成 21 年 2 月 8 日開催)

目的

- ・これまでの eco-T をふりかえり、次のステップを考えるために、市民 (活動者) 事務局 (運営) 市 (管理) の 3 者で現在の eco-T を評価し、今後について考える。
- ・市民による運営に向け、市民参画を再認識し、主体者意識の向上を図る。
- ・市民は、自分たちの活動の満足や課題を言語化し、不足していることを市や事務局に伝える。
- ・市は eco-T の評価や思っていた状況との違いを伝える。
- ・事務局は、担当業務の達成度や課題を発表し、新年度の方針を考える。

実施内容

- ・eco-T のミッションを全員で再確認し、12 月までの実施事業を事務局が報告した。
- ・会議参加者各自で eco-T 事業全体、自分の活動の 2 つについて 6 段階で評価し、マップ化した。その後 2 人 1 組になって相互にインタビューし、相手の感じていることをより深く引き出すようにした。
- ・中期計画の参考にするべく、「5 年後の eco-T がこうなるといいな」を各自でフリップに書き、グループ内でアドバイスをもらってから全員に発表した。



成果

- ・35 名参加。eco-T がイベント出展や出前講座を行った交流館の職員も 2 名参加し、意見を発表した。
- ・6 段階評価をマップ化することで、関係するメンバーの総意として、現在の eco-T をどのようにとらえているか明確になった。

eco-T 全体(事業)の評価		自分の活動の評価	
6. とてもうまくいっている	0 名	6. とても楽しい	3 名
5. まあ、うまくいっている	18 名	5. 楽しい	11 名
4. ぼちぼち	10 名	4. ぼちぼち	11 名
3. いまいち	3 名	3. いまいち	2 名
2. あまりうまくいってない	1 名	2. 最近ちょっとつらい	3 名
1. とてもうまくいっていない	0 名	1. とてもつらい	1 名



- ・全員がいろいろな 5 年後を描いていることがわかり、共有できたことで eco-T の可能性の大きさを再認識できた。

みんなで考えた「5年後のエコットがこうなるといいな」

それぞれが考えたアイデア(未来予想図)

- ・真の意味で豊田市の環境学習のセンターになれるといい
- ・市民の期待に応えられる、働きかけられるように十分な能力を持つこと
- ・エコットがエコライフをひろめる(ネットワーク)の拠点になっている。
- ・環境の拠点。環境の事なら何でも知ることが出来る。
- ・学校との連携。学校教育に進出。環境学習モデル学校に期待している。
- ・エコット=環境の発信基地(エコットに行けば何でもわかる)
- ・展示室にいつも見学者が5~6人はいる。
- ・42万人の人が一度はエコットに行ったことがある。
- ・市の環境学習施設として市民の40%が来館してくれる。
- ・エコットの名前を豊田市民の半数以上が知っている。
- ・エコットが増える。学習者が10倍「楽しい学び」
- ・1年で5万人の入場者になる(出前講座なども含む)
- ・利用率100%。豊田市民が利用したことのあると言える施設。
- ・市民参加型の教室を常時開校している。
(エコクッキング、竹細工、近くの里山に行き遊ぶ、省エネ体験教室、廃材の有効利用(木材・竹でイス・机づくり))
- ・出前講座を増やして地域にひろめる。
- ・将来をになう子どもをターゲットに取り組む。
- ・農業や林業を活性化させ、身近に自然を体験し大切に思う心を育てる。
- ・楽しいエコライフを考える自分の場がある。
- ・展示物を体験型にする。
- ・環境学習の基。
- ・特別の場所ではなく、誰でも(当たり前で)学べる場所に。市民が気軽に訪れる施設。
- ・プラ製容器包装の見学が普通にできる。
- ・エコライフの実践者のグループが沢山登録団体として来ている。
- ・市民がエコライフを実践しているかを把握しにくい、把握できる方法を打ち出す。
- ・環境全国シンポジウム開催
- ・地元の小学生の遊び、学びの場。
- ・こんなこともできるんだ！ドキドキ、発見、刺激。
- ・自然におおわれ大勢の人が遊びに来ている。ごみが一つもないきれいな施設。
- ・国際理解×環境学習
- ・バス路線などの交通手段の充実。
- ・おいでんバスが通っている。
- ・自転車族が増える。(駐輪場がいっぱいになる)
- ・楽しくて、また来たいと思う。たくさんの笑顔が集まる場所。エコット=楽しいところ。
- ・豊田の名所になる。
- ・小学生が友達と来られる。
- ・子ども~高齢者まで気軽に来館出来るようになる。

- ・支部が海外進出！
- ・旧工場跡に公園が出来る。
- ・全国からお呼びがかかるインタープリターが多くいる。インタープリターが増える。
- ・本やレポートが出る。
- ・いろんな分野の人達が集まり、それぞれの出来ることを活動にしていく。
- ・エコットウエディング
- ・紙製包装容器が豊田市で当たり前のように回収される(コンビニ等のごみも含む)
- ・エコットに音楽サークル誕生。
- ・エコ人プロジェクトが自家栽培で収穫したもので店を開く。
- ・幼児から大人まで多くの世代がエコットにきて交流できる。
- ・7階展示にティールームができる。
- ・エコット村(市民農園)